

< 6 > 海上輸送を便利にお使いいただくために・・・

陸上輸送⇒海上輸送へ転換して頂きやすくするため、荷主メーカー様にご勘案頂ければというポイントです。

①

「輸送日程」の緩和

- 納期を1日でも延長頂く事は、モードの選択肢も広がり、「物流の円滑化」「突然の輸送障害対策」などに即効性を発揮します。

②

幹線輸送における 「輸送ロット」の取纏め

- ロットの纏まらない幹線輸送は費用も含めて非効率です。一度に多量の幹線輸送できる体制は効率化に繋がります。近隣メーカー様間の提携で物量を纏めて頂くのも一手です。

③

バラ輸送貨物の 「パレット化」促進

- 1車で多量の輸送をする場合、バラ積みのカートンや袋物をドライバー1名で扱うのは体力的に厳しい作業です。パレットやアミコンなどでの出荷体制をご検討下さい。

< 6 > 物流改革として：海上輸送をご利用いただくために（例）

陸上輸送⇒海上輸送への転換に向け、ある物流事業者様から食品メーカー様にご提案頂いた一例です。



① 全体納期延長 (輸送日程緩和)

↓
「×」

② ご提案

手始めに
販売まで期間ある
季節商品から納期
変更は？

↓
「○」

③ 海上輸送実施

「鍋つゆ」など
先送り可能な品
から輸送開始

↓
試行しながら
次の改革検討中

メーカー様にとってリードタイムの変更は、大掛かりなオペレーションシステム変更が伴う事が多く、ハードルが高いと感じられる状況が多い。⇒先ずは可能なものから、徐々に物流改革を！

<7> その先の快適な海上輸送のご利用にむけて

更に快適な海上輸送のご利用に向け、下記の様な取組が進められています。

- 老朽船⇒新造船へ代替

航海安全向上、荷役作業効率化、燃費改善、ドライバー室の快適化などを各社熟慮し、新造船の投入を進めています。

- 船体の大型化

1船の輸送キャパを拡大することで、繁忙期の輸送障害回避を図っています。

RORO船
運航企業



- 港湾の安全向上

入出港作業や荷役作業支障を防止する為の最新鋭係留装置を設置するなど、取組が進んでいます。

- 港湾の高機能DX化

港湾作業者の減少や、ドライバー様の港での貨物受渡しをスムーズ化する為の、各種DX化検討が進められています。

関係官庁様
及び行政様



～ご清聴ありがとうございました～



近海郵船株式会社